

おほとものたむらのいへ おほをとめ  
大伴田村家の大嬢、 妹坂上大嬢に贈る

歌四首

七五六番

外よそに居ゐて 恋こふれば苦くるし 我わ妹子もこを 継つぎて相見あひみ  
む 事計ことばかりせよ

七五七番

遠とほくあれば わびてもあるを 里近さとちかく ありと聞き  
きつつ 見みぬがすべなさ

七五八番

白雲しらくもの たなびく山やまの 高々たかたかに 我あが思おもふ妹いもを  
見みむよしもがも

七五九番

いかならむ 時ときにか妹いもを むぐらふの 汚きたなきや  
どに 入いれいませてむ